

メンバーと共有できる感動が魅力



公演スタッフ

たじま みかこ
田島 美加子さん

「公演スタッフを始めて友達が増えました」と笑顔で語る田島さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.170

秋も深まり、どんぐりや綺麗な色の落ち葉など「自然の落とし物」を拾う子どもたちの姿にほっこりした気持ちになります。また、立冬が過ぎていよいよ冬が始まります。健康管理には気をつけてください。11月3日、みの〜れは19歳の誕生日を迎えました。ずいぶん大きくなりましたね。これからもずっと成長を応援したいと思っています。今回は、みの〜れ公演スタッフで石岡市八郷地区にお住まいの田島美加子さん取材します。

田島さんがみの〜れに関わるようになったきっかけを聞いてみました。「社会福祉協議会で行っている買い物バスツアーのボランティア活動をしています。そこで、みの〜れ支援隊長の近田さんから声をかけてもらいました。お誘いを受けてチームアラカルトに入り、その後、公演スタッフに入りました」と笑顔で話してくれました。

「住まいが八郷地区なので、小美玉の知り合いが少なかったのですが、みの〜れでボランティア活動をするようになって友達が増えました。歳を重ねていくと、だんだん友達をつくるのが難しくなってきましたよね。でも、ここで出会った友達と仲良くなっ

て刺激を受けるようになりまし

た」と話してくれました。

好きで、パンやお菓子は思いついた時に作って友達にあげたりしています。アップルパイやお芋のパイなど季節のお菓子も作ります。レーズンパンやバタークッキーなどは子ども達からリクエストがありますね」と優しく微笑みます。会議の時に差し入れてくれる田島さんの作るパンやお菓子は、とてもおいしくてパクパク食べてしまいます。

田島さんにとってみの〜れは、「いろいろなイベントがあるから、ステージを観たり、音楽を聴いたりボランティアをしながら楽しめるところかな。公演が終わったから、お客様と一緒に『楽しかったなあ』と感動できるところ。また、公演スタッフはお客様を送り出した後にメンバーと『ああ・無事に終わった!』と一緒に感動できることかな」と

話してくれました。

コロナ禍で自主事業が延期や中止になり、公演スタッフの活動も充電中でしたが、新型コロナウイルス感染症も落ち着き自主事業が開催されるようになりました。みの〜れ公演スタッフは、お客様を笑顔で「いらっしやいませ!」とお迎えして、おもてなしをしたいと思っています。

※みの〜れ公演スタッフ：みの〜れ自主事業の際にお客様が初めて出会うのが公演スタッフです。みの〜れの玄関に入ってからお帰りになるまでの大切な時間をサービスの心(笑顔)でもてなすよう心がけています。そのために、公演スタッフは接客マナー研修などを受けています。

(藤田佐知子)